

災害廃棄物仮置場設置運営現地訓練の結果について(滋賀県)

令和5年8月25日(金)

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

災害廃棄物仮置場設置運営現地訓練の概要

事業の背景

- ◎滋賀県においては被災経験が少ない。
- ◎仮置場設置運営の初動訓練を実施したい。
- ◎関係団体との連携を強化したい。



事業の実施内容

午前:机上訓練

⇒レイアウト、必要資機材の検討(グループワーク)

午後:現地訓練

⇒①設置訓練、②搬入訓練、③搬出訓練



成果物

災害廃棄物一次仮置場設置運営の手引き(滋賀県版)



訓練対象者

- ・県内市町および一部事務組合廃棄物担当職員（メイン）
- ・滋賀県産業資源循環協会、その他県協定締結団体
- ・県職員（循環社会推進課、防災危機管理局、環境事務所）
- ・環境省近畿地方環境事務所職員

実施体制（R4）



実施体制（R5以降）

R4年度：環境省近畿地方環境事務所 災害廃棄物処理府県提案型モデル事業として実施
 R5年度：前年度で学んだノウハウを生かし、直営で実施。（産資協への委託については継続）

3

午前

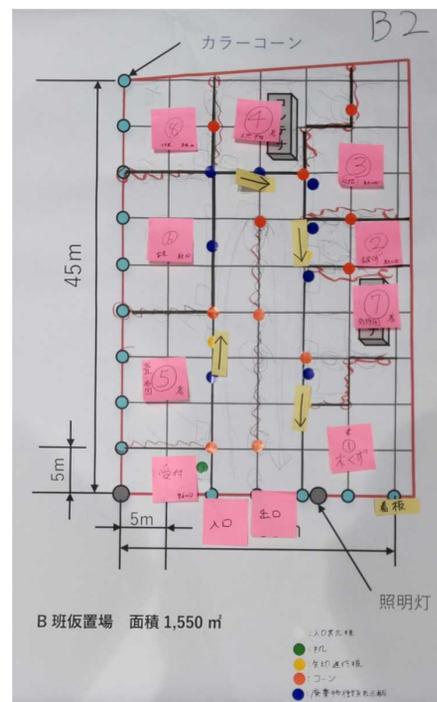
レイアウト、資機材検討ワークの様子

個人ワーク

- ・レイアウト、資機材の検討。

グループワーク

- ・グループで1つのレイアウト、資機材を決定。



4

設置訓練



搬出訓練



搬入訓練



5

訓練での気づき・学び

訓練の中の気づき(抜粋)

- ◎ 平時の備えの重要性
- ◎ 受付対応に時間がかかる
- ◎ 搬出を考慮したレイアウト、場所の確保

訓練を企画・運営する中での気づき

訓練当日における参加者の学びに加えて・・・

- ◎ 企画段階で疑似体験できる!(まず訓練場所の選定、資材、人員どうするか・・・)
- ◎ 業界団体との連携、顔の見える関係性の構築
- ◎ (継続することで・・・) 行政・業界団体における経験・ノウハウの蓄積

6